



新年号

発行所  
水戸市千波町1918番地  
茨城県総合福祉会館内  
公益財団法人茨城県消防協会  
編集発行人  
消防協会長 葉梨 衛  
印刷所  
(有)堀口印刷  
1部 15円  
(購読料は年会費に含まれています)



年頭に寄せて

公益財団法人茨城県消防協会

会長 葉梨 衛

平成二十九年の輝かしい新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んでご祝辞を申し上げます。

消防団員・消防職員の皆様方には、常日頃から、地域住民の生命・身体・財産の保全のため、火災を始めあらゆる災害に対し、昼夜を分かたず、献身的に職務に精励されておりますことに対し、心からの敬意と感謝の意を表するものであります。

また、消防関係諸団体の皆様方には、消防防災に対する深いご理解のもと、熱心にご活動されていることに対し、深甚なる敬意を表する次第であります。

我が国の消防は、戦後、地域に密着した自治体消防として発足して以来、関係者の並々ならぬご努力によりまして、組織・設備の両面において着々と充実強化されておりますことは、誠に同慶の至りでございます。

今日、消防の任務及び活動は、火災予防、警防、救急救助をはじめ、地震や風水害などの自然災害への対応等広範囲にわたり、さまざまな場面で地域住民の安全・安心確保に大きな役割を果たしているところでございます。

しかしながら、一昨年九月の関東・東北豪雨による水害や、昨年の熊本地震などの自然災害、そして一向に減ることのない火災に対し、地域住民の安全・安心に対する意識が益々高まってきており、消防の責務も一段と重要性を増しております。

また、いつ発生するか予測のつかない災害から被害を最小限にとどめるためには、地域において日頃から備えを万全にしておくことが重要であり、そのためには、消防団が中核的な役割を果たしながら、住民や企業・団体などが一層連携し、地域の総力を結集して地域防災力の充実

強化を目指すのであればならないと考えております。

本協会といたしましても、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、県民の『安全・安心の確保』のため、今後とも各種事業を積極的に推進して参る所存でございます。

特に、平成十九年度の理事会・評議員会で決議いたしました「女性消防団の結成促進に向けた取組み」につきましては、各消防団長さんをはじめ、関係者の皆様のご熱意とご努力により、着々と実績を上げてきており、女性採用団は昨年十月現

在で県内四十四消防団中四十一団を数え、女性採用団数の割合は九十三パーセント

と全国でも山口県、鳥取県、愛媛県に次いで四番目の高い割合となっております。今後も発足の動きが見られます。

どうか皆様におかれましても、心新たに「安全な地域づくり」のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様方とご家族様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

茨城県知事 橋本 昌

平成二十九年の新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、本県の消防防災行政の推進に大変なご尽力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

また、葉梨会長さんをはじめ茨城県消防協会の皆様方におかれましては、消防・防災技術の向上と消防団の組織強化を図るため、消防ポンプ操法競技大会地区大会や消防大会、女性消防団員活性化大会など、各種事業に積極的に取り組んでいただいておりますことに、改めまして厚

く御礼申し上げます。

さて、昨年は四月の熊本地震、八月の台風十号による猛烈な大雨、十月の鳥取地震などにより多くの尊い命が失われ、大規模火災では、百四十棟を超える建物が焼損するなど、近年、災害が大規模化・多様化し、日本全国で頻発しております。

本県でも東日本大震災以降、平成二十四年のつくば市の竜巻、さらには一昨年九月の関東・東北豪雨災害などにより甚大な被害が生じましたほか、昨年十二月にも最大震度六弱を観測する地震が発生

いたしました。

県では、国や常総市など7市町と一体となつて、総額六百億円に上る、「ハード・ソフト一体となった「鬼怒川緊急対策プロジェクト」を進めますとともに、昨年五月には、国土交通省と一都六県、取手市の主催により、第六十五回利根川水系連合・総合水防演習を実施いたしました。

また、昨年六月からは、いばらき消防指令センターと連携した新たな県防災情報ネットワークシステムの運用を開始しますほか、災害時の物流拠点となる新たな防災倉庫の整備や市町村を超える広域避難の仕組みづくり、災害時の情報共有の在り方を検討するなど、これまで以上に、災害に強い県土づくりや災害対応能力の向上に力を注いでおります。

こうした中、消防団の皆様には、火災時における消火活動はもとより、地震や風水害などの災害発生時における救助活動、河川巡視警戒や土のう積み作業などの水防活動、さらには住民の避難誘導など、危険と背中合わせの中で、第一線に立って、地域住民の生命や財産を守るために活動いただき、改めて感謝申し上げます。

県では、地域防災力の中核となる消防団の充実強化に向けて、昨年に引き続き、市町村が行う安全装備品の配備などを積極的に支援しますほか、若者や女性、公務員などの入団促進、団員の処遇改善など、消防団員の確保に力を注いでまいりますので、皆様方におかれましても、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方におかれましては、年頭に当た

り、消防人としての使命と、その職務の重要性を改めて認識され、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のますますのご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。あいさついたします。



新春を飾る消防出初式が一月七日から九日までの三日間を中心に県内各地で挙行されました。今回は、日立市、北茨城市、常陸太田市及び常総市消防出初式の様子をスナップ写真でご紹介いたします。



日立市 (1/8)



常総市 (1/8)



北茨城市 (1/7)



常陸太田市 (1/7)

# 平成二十八年度 支部別消防団長等 懇談会を開催

恒例の支部別消防団長等懇談会が、昨年十二月に県南北部支部、年明け一月から残る五支部で順次開催しております。出席者は、消防団長をはじめ消防長、消防主任並びに県から消防安全課長、消防学校長及び同職員、協会事務局です。

**(開催日程)**

- 県南北部支部 五市  
平成二十八年十二月十四日  
つくばみらい市伊奈庁舎
- 県北支部 九市町村  
平成二十九年一月二十日  
ひたちなか・東海消防本部

- 県南部支部 九市町村  
平成二十九年一月二十四日  
守谷消防署
  - 県央支部 六市町  
平成二十九年一月二十七日  
水戸市消防本部北消防署
  - 県西支部 十市町  
平成二十九年二月二日  
ピアスパークしもつま
  - 鹿行支部 五市  
平成二十九年二月十七日  
鉾田市旭総合支所
- 議題**
- (一) 消防団への理解促進策等検討会議
  - (二) 全国消防操法大会代表選考会(ポンプ車の部)の開催
  - (三) 女性や若者をはじめとする消防団加入推進支援事業に係る消防団PR動画制作業務
  - (四) 市町村における消防団充実強化施策
  - (五) 平成二十九年消防学校教育訓練計画(案)の概要
  - (六) 平成二十九年消防団長研修会
  - (七) 茨城県消防協会表彰規程
  - (八) 茨城県消防ポンプ操法競技大会開会式時の来賓祝辞
  - (九) 日本消防協会の火災共済及び個人年金等
- 懇談会は、消防安全課から議題(一)「消防団への理解促進策等検討会議」から(四)「市町村における消防団充実強化施策」について、県立消防学校から(五)「消防学校の教育訓練計画」について、



古河市消防団  
副団長 金谷 孝夫

第四十三回消防団  
幹部特別研修に  
参加して

ここに、金谷副団長からの寄稿文をご紹介します。



消防協会から、(五)「平成二十九年消防団長研修会」から(九)「日本消防協会の火災共済及び個人年金等」について説明がありました。

いずれの会場でも、限られた時間の中で有意義な情報交換が出来たものと思われれます。

平成二十九年一月十日から十三日まで  
の四日間、日本消防会館にて四十七都道  
府県より団長二十二名、副団長二十五名  
の参加で研修が行われました。

各都道府県の代表ということもあり、  
少し緊張した面持ちで控室に待機してお  
りましたが、名刺交換などが始まるとす  
ぐに打ち解け、和らいだ雰囲気になりま  
した。

研修では、秋本消防協会会長、青木消  
防庁長官などの方々のおいさつで開講式  
が行われ、各講師より災害情報学、消防  
団活動事例、火災防衛、惨事ストレス、  
危機管理など様々な講習を受講しました。  
講習は、実体験を基にしたお話が多かっ  
たので、とても説得力があり参考になり  
ました。

今回の研修では、六つの班を編成し各  
班で決められたテーマを検討する時間が  
あり、私は「大規模災害における消防団  
本部の運営について」という課題の班に  
参加させていただきました。なぜ、この  
課題を選んだかというところ、ここ数年、地  
震や異常気象に伴う風水害で市の対策本  
部を立ち上げる機会が増え、立ち上げた  
後の本部の対応が、このままで良いのか、  
疑問視していたからです。

幸いにも私の班には、昨年の熊本地震  
で被災した熊本県益城町の団長さんがお  
られ、実体験を通してお話を聞くことが  
でき、私自身、たくさん質問させていた  
だき、得るものが多いグループ討議とな  
りました。

団長さんのお話では、実際、災害が起  
きた時に一番苦労したことは、やはり通  
信手段だったそうで、私も東日本大震災

で体験しましたが、携帯電話や固定電話  
など、普段当たり前のように繋がるもの  
が使えず、団員との連絡方法が苦労した  
との事でした。

ただ、LINEは使用することができ  
たので、分団とグループ分けをして活用  
できたとの事でした。また、高知県の団  
長さんからは、防災無線に補助電源が取  
り付けてあるものが役に立つというお話  
もいただきました。

他にも苦労したことはデマが多いこと  
で、情報の正確性を精査しなければなら  
ないこと多く、大変だったと言っており  
ました。

また、団員活動のストレスも顕著で、  
被災した最初の三日間は総動員で活動を  
行い、疲労困憊で体力的にも精神的にも  
限界だったそうです。その後は、班編成  
をして、ローテーションでの活動に切り  
替えたが、地震も本震以外に余震も続い  
たため、気が休めなかったとの事でした。

最後に、今回の研修を受け、講師の方々  
や全国の消防団本部の皆さんの声が聞け  
たこと、学べたことを地元で対策本部を  
立ち上げた際に活かせられたら、この研  
修が実りあるものになると思いました。  
これからも、このような機会がありまし  
たら、積極的に参加していきたいと思っ  
ています。



### 編集後記

今年も協会の行事等にご協力とご理解  
を頂きながら進めてまいりますので、引  
き続きよろしくお願いいたします。  
皆様からの寄稿文や様々な情報を心よ  
りお待ちしております。また、広告掲載  
を募集しております(掲載料:掲載一回  
税込み五千四百円、掲載サイズについて  
は誌面四頁の掲載広告を参照して下さ  
い)。是非、ご連絡ください。(き)

**オリジナルTシャツ**  
**アポロキャップ**  
**徽章類**  
**消防グッズ各種**

茨城県マスコット  
ハッスル黄門

ハッスル黄門ストラップ取扱店

**水戸スポーツ株式会社**

水戸市袴塚1-1-2  
TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

**新聞・テレビで注目!**  
初期消火に**サット119!!**

**安心** 投げるだけで使える!  
…子ども・高齢者・誰でも簡単…

**軽い** 500mlペットボトルサイズでラクラク

**簡単** そのまま火元に投げるだけ!

安全・安心・便利の  
**クリラ借楽園** TEL:029-306-7746  
E-mail:crecla-kairaku@abeam.ocn.ne.jp

全国シェアNo.1の消防車メーカー  
**(株)モリタの各種消防自動車**  
常に最新技術を反映して様々な災害  
現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目  
小型動力消防ポンプ・消防用ホース  
救助資機材・潜水機材・消防用被服  
防災用品・消防用品・消防資機材

**茨城県代理店**  
**有限会社 鈴 機**

〒315-0014 石岡市国府5-2-25  
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

**Panasonic**  
自動火災報知設備  
非常電源設備  
自家発電設備  
CVCF設備  
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店  
**株式会社入江電機工業所**

本 社 〒310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号  
TEL.029-224-4614(代表)  
FAX.029-224-4613  
千波営業所 〒310-0851 水戸市千波町海道付2027番地  
TEL.029-241-3636(代表)  
FAX.029-244-0540  
土浦営業所 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号  
TEL.029-821-8498(代表)  
FAX.029-822-6575

**トーハツ** 小型消防ポンプ  
充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで  
豊富な機種でお客様のご要望に  
お応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース  
消火器 消防服装  
消防資機材用品一式

茨城県代理店  
**トキワ産業株式会社**  
水戸市三の丸3丁目7番1号  
TEL.029(224)3324代 FAX.029(224)3360